



— 春の予感特集 —

3月の

おおもりの

トピックス



3月7日 特養ホーム デザートバイキング



3月27日 内川遊歩道にて  
外気浴と少し早いお花見



食べる喜びをみなさまへ



3月20日 デイサービス押し花教室



目の前のマチノマは、気軽に行ける  
特養大森の「お茶の間」です。






第2回

# 大森の未来を考えるシンポジウム

大森をもっと楽しく、もっと元気な街に

2019  
3/24(日)



うつのみ 卯月 盛夫先生

**第1部 大森で活躍する団体によるシンポ**  
10:00~11:40  
大森で活躍する団体がそれぞれの地域貢献などを紹介します。

**第2部 意見交換とまちづくり交流会**  
11:50~13:00  
地域での団体同士のつながりあいの大切さを深めます。

主催:おおもり・まちづくり協議会 後援:おおた区民活動団体連絡会  
※ このイベントは大田区地域力応援基金助成事業の一環として開催されます。



 <b>堀井 美沙</b> <small>(地域学習教室 いるか代表)</small>	 <b>安達 毅</b> <small>(大森学園高等学校 教頭)</small>	 <b>大河内 崇弘</b> <small>(ナンカ堂大森町店 取締役営業部長)</small>	 <b>関 英一</b> <small>(開成工務 代表取締役大森工場協会副会長)</small>
---	--	--	---

千葉大学教育学部卒。公立小学校の特別支援教室に勤務経験があります。その明るさと発想力で

本校は、この大田区で製造業を担う若者を育成する為、資深の工場主の出身により昭和14年に誕生し、今年度創立80周年を迎えます。「心豊かな技術者を目標して」

大森町駅前にて昭和38年より営業しております「アクションと暮らしのお店、ナンカ堂」です。「婦人・子供・紳士の洋服、靴着、靴下、服飾雑貨、履具、インテリア、

●おたのまプロジェクトについて  
現役職工場職人・ものづくり好きの人々がメンバー。大田区町工場製のコマ(大田のお土産 100選認定)をツール

学習支援、学校、小売業、工業、葬儀、シニアクラブ、介護など  
多様な団体から… 地域で活躍する「**熱い**パネリストの面々!!」



**おおもりの未来への創造を語る2人!**

 <b>戸澤 潤</b> <small>(地域包括支援センター大森 所長)</small>	 <b>小宮 山 亮</b> <small>(特別養護老人ホーム大森 施設長)</small>	 <b>鳥畑 久美枝</b> <small>(花葬儀 終活トータルサポーター)</small>	 <b>歌野 美津子</b> <small>(大森西1丁目長生会 副会長)</small>
--	---	--	--

平成元年に鹿兒島より上京してはや30年、うち後半の20年は「社会福祉法人池上長寿園」

社会福祉法人池上長寿園が運営する、特別養護老人ホーム大森は平成5年に大森西1丁目にて感謝状をいただく等、各介

2019年2月に池上長寿園より「ボランティア感謝の集い」にて感謝状をいただく等、各介

大田区には町会が217、長生会(おおむね60歳以上の高齢者で構成)が158あると言われる。ただ町会と長生会

## シンポジウムに参加して…

昨年11月の第1回シンポジウムでは、早稲田大学卯月教授から、一軒のカフェや空き家、小さな公園をきっかけに、人と人がつながり地域を変えてゆく事例を、いくつもお話いただき感動しました。

今回は幅広いジャンルのパネリストが地域課題への取組みや、多世代・多分野のみんながつながることの大切さ、大森への熱い思いなどを語り合いました。卯月教授からは、こどもから高齢者、学校、産業関係など様々な人びとや団体がひとつになってまちづくりに取り組んでいる地域活動は全国的にも珍しいとのことでした。

おおもり・まちづくり協議会ではいろいろな地域イベントを開催しています。イベントは当日だけでなく、その過程でたくさんの人や団体がつながり、地域課題を解決する大きな力に発展していきます。地域の皆さんと地域包括支援センターと一緒にまちづくりを進めるためのヒントをたくさんいただき、共生社会の実現に取り組む、大森の地域力のすばらしさを感じた一日でした。(地域包括支援センター見守りコーディネーター)